

補助事業番号 2022M-111  
補助事業名 2022年度 医療機器の整備 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人榊原記念財団

## 1 補助事業の概要

当財団附属臨床研究施設の榊原記念病院は循環器専門病院であり、指定難病である肥大型心筋症において様々な治療を可能とする設備を有している。肥大型心筋症には合併症として心不全、不整脈が起きる。その際は植込み型デバイス（植込み型除細動器など）を装着する処置が施されるが、長期間留置されたデバイス本体やリードは生体組織への癒着が進行するため、単純牽引による抜去は血管裂傷、心筋裂傷などの危険が伴うこととなる。

本事業の医療機器「フィリップスレーザシステム Nexcimer」を用いることで、癒着組織を蒸散し安全にリード抜去を行うことが可能となる。リード抜去術は医師、施設に求められる要件を満たしていなければ施術することが困難であるため治療が敬遠されている可能性が高いが、当施設では人員、および設備において十分な要件を満たしており、この機器を導入することで多くの難病患者の助けとなる。

肥大型心筋症は発症してからの治療、術後、予後、すべての段階において包括的な医療体制構築が必須である。今回の申請機器導入によりさらに充実した医療体制の下、難病治療研究に寄与していく。

## 2 予想される事業実施効果

心臓植込み型デバイスが長期間留置されることで生じる生体組織との癒着を安全に取り除き、低侵襲治療を行うことで患者の予後の改善、生活の質（QOL）向上に貢献することが見込まれる。また、医療体制を充実させることから得られる豊富な臨床データから低侵襲治療法の確立を目指す。

## 3 本事業により導入した機器

### ① フィリップスレーザシステム Nexcimer

(URL <https://www.hq.heart.or.jp/ki fuhojyo/>)

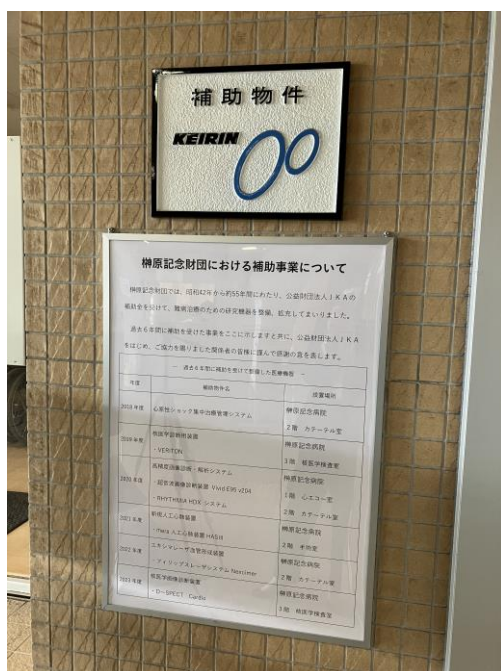
カテーテルの先端から照射される強力なレーザー光（エキシマレーザ）放出の蒸散効果により、生体組織の破壊をもたらす。この特質を活かし、冠動脈疾患、下肢動脈疾患治療における血管形成術や、長期間留置された心臓植込み型デバイスの癒着組織を蒸散してリード抜去を安全に行うリード抜去術に用いられる。

機器の写真（補助標識が分かる写真）



設置場所【榊原記念病院2階 カテーテル室】

機器を設置・使用している建物入り口付近の写真（補助標識が分かる写真）



設置場所【榊原記念病院 正面玄関入口柱】

② 本事業に係る印刷物等

- ・ 2022年度事業計画書
- ・ ポスター（院内掲示）
- ・ 当財団ホームページ（URL <https://www.hq.heart.or.jp/kifuhojyo/>）
- ・ 2022年度事業報告書
- ・ 榊原記念病院1階ロビー待合室大型モニター（放映中）
- ・ 院内広報誌「心をつなぐ」（全職員配信）

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人榊原記念財団

（コウエキザイダンハウジンサカキバラキネンザイダン）

住 所： 〒183-0003

東京都府中市朝日町3-16-1

代 表 者： 理事長 矢崎義雄（リジチョウ ヤザキヨシオ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 主任 植村千春（シュニン ウエムラチハル）

電話番号： 042-367-4045

F A X： 042-367-4043

E-mail： [cuemura@hq.heart.or.jp](mailto:cuemura@hq.heart.or.jp)

U R L： <http://www.hq.heart.or.jp/>